

江戸川大学こどもコミュニケーション研究所・  
メディアコミュニケーション学部こどもコミュニケーション学科共催

後援：流山市教育委員会、流山市社会福祉協議会、江戸川大学駒木学習センター

第8回こどもコミュニケーションフォーラム

# 『ともに生きる 平和・いのち・ 人と動物の絆』

フォトジャーナリスト 大塚敦子氏 講演会

**開催日時** 2018年11月3日(土) 11時～12時30分

**開催場所** 江戸川大学 B棟 1階 メモリアルホール

**定員** 150名 先着順(事前申込み不要) **参加費** 無料

※学園祭が同日開催のため、本学駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。  
流山おおたかの森駅東口より、スクールバス(無料)をご利用いただけます。

今回のフォーラムのテーマは「平和のためにできること」です。今をときめく、  
フォトジャーナリストでノンフィクション／写真絵本作家の大塚敦子氏をお迎  
えして、お話を聞きます。子どもも大人も学生も、お気軽に学園祭とあわせ  
てご参加ください。



私の取材テーマは、お互いのいのちを尊び、平和で、誰も置き去りにしない  
社会をつくるための試みです。人と動物の絆には人の心を開き、そのような社会  
に近づけるための大きな可能性があります。難病と生きる子どもたち、虐待を受  
けた子どもたち、犯罪や非行をした人たち、そして戦争で破壊された社会などを  
再生するために、日本や世界でどのような取り組みがおこなわれているのか、私  
が撮った写真や本をとおしてお伝えしたいと思います。

<大塚敦子氏プロフィール>

1960年生まれ。上智大学文学部英文学科卒業。フォトジャーナリスト、ノンフィクション／写真絵本作家。パレスチナ民衆蜂起、湾岸戦争などの国際紛争の取材を経て、死と向きあう人びとの生き方、自然や動物との絆を活かして、罪を犯した人や紛争後の社会を再生する試みなどについて執筆。『さよなら エルマおばあさん』(小学館)で、2001年講談社出版文化賞絵本賞、小学館児童出版文化賞受賞。コミュニティ・ガーデンによる内戦後のボスニアの平和構築を描いた『平和の種をまく ボスニアの少女エミナ』(岩崎書店)が2008年青少年読書感想文コンクール小学校高学年の部の課題図書、聖路加国際病院小児病棟でのセラピー犬と子どもたちの交流を描いた『犬が来る病院』(角川書店)が2017年高校生の部の課題図書に選定。『(刑務所)で盲導犬を育てる』(岩波ジュニア新書)、『地雷のない世界へ はたらく地雷探知犬』(講談社)、『いつか帰りたいほくのふるさと 福島第一原発 20キロ圏内から来たねこ』(小学館)など著書多数。

ホームページ：www.atsukophoto.com

問合せ先

江戸川大学企画総務課

〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

TEL:04-7152-9908 (平日9時～17時) FAX:04-7153-5904

e-mail kodomoc@edogawa-u.ac.jp